



～JA事業紹介編～ まんが:じっく

第77話 JAの顔



中間テスト最終日は早く帰れたので
トマト農家の中里さんのところへ遊びに来ています

2人とも好きなのでいいですね!

こんにちは
——おや
接客中かな?

大丈夫です
どうぞ!

トマトの葉かき
上手にできてるね
立派ですね

桜町 健児 (45)
JA職員で営農指導員

巡回指導で
回ってきたみたい
だね

そりやあ営農指導員は
農家に一番近いところで
仕事に取り組んでいるからね!
農家にとっては"JAの顔"と
言っても過言じゃないよ

なんだか
親しげだね?

"JAの顔"!!

一ノ瀬さんも
JAに興味
あるの?

少しね

そっか!
営農指導事業は農業を営む上で
最も重要で頼りにされる部門だね
就農者が経営を維持できるよう
収量・品質を高める栽培指導会をはじめ
経営とかのやりくりに関する相談まで
向き合ってくれるんだってさ!

これなら優兄みたいな
新規就農者でも
安心して経営できるよね

あと
もう一つ
いいっすか?

うん

女子ウケのいい
SNSテクって
知りませんか?

何かと思えば
恋愛相談かい...

主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。トマト農家で収穫体験中に感じたJAと農家のつながり。農家の一番近くで働く職員とは？

編集後記

▽朝晩の気温がだいぶ涼しくなり、秋の気配を感じるようになりました。間もなく実りの季節を迎えます。農産物検査員の出発式が開かれるなど、今年産米の受け入れ準備が着々と進んでいます。出来秋に期待が高まります。▽インフォメーションでも紹介しましたが、今年初めて、JAいわて平泉米良食味コンクールを開催します。皆さんの自慢のお米をぜひご応募ください。(浅利)

▽今年も青年部では立て看板を制作し、管内の農畜産物や地域農業についてPRしています。制作しているところを取材し、どの青年部もアイデアを出し合いながら進めているところに団結を感じました。農業や管内の農畜産物への熱い思いが詰まった、各青年部の今年の力作をぜひ、揭示場所でご覧になっていただければと思います。(及川)

